

# あかつか

新潟市立赤塚小学校 学校だより  
令和7年度 第5号  
発行日 2025年10月1日  
TEL 025-239-2019 FAX 025-239-3803

9月1日、夏休みに一生懸命取り組んだ作品や学習した物を大事に抱えて、子どもたちは元気に、そして誇らしげに登校してきました。子どもたちの顔を見て嬉しくなり、同時にたくさんの元気ももらいました。長い夏休みには、計画通りに進められたこと、見通した通りにはいかなくて四苦八苦したことなど、様々な出来事があったことと思います。子ども一人一人の取り組んだ姿勢が、過程そのものが尊く、子どもたちの経験となり財産となっていると思います。ご家族のご協力に感謝します。

## 認められたり褒められたりすることで、自分のよさに気付く！

「自分にはよいところがありますか？」という質問に、「はい、私にはよいところがあります」と自信をもって答えられる赤塚小学校の子どもは、どれくらいいると思いますか。

R6新潟市生活・学習意識調査「自分にはよいところがある」の回答 ※（ ）内は新潟市平均

肯定的回答	あてはまる	48.5% (53.9)	87.4%
	ややあてはまる	38.9% (31.5)	(85.4)
否定的回答	あまりあてはまらない	9.6% (9.6)	12.6%
	あてはまらない	3.0% (5.0)	(14.6)

自分のよいところを知っている子どもは、自分で考えて課題を解決したり、自分で判断して行動したりできる子どもが多いと言われています（相関関係が高いようです）。

自分のよさに気付けない、自分のよさを認められない、自分に自信がもてない子どもであれば、「あなたのよさは〇〇だ」「あなたは、あきらめずに粘り強く続けられる」「いつも遊びに誘ってくれる優しい人」など、その子どものよさを、その子どもの取り組む様子を、その子どものおかげで嬉しくなった気持ちを、言葉にして伝えていけばよいのではないのでしょうか。

自分のよさに気付いているけれど、恥ずかしがっている、まだまだ自分なんかと謙虚な気持ちでいる子どもであっても、「〇〇に詳しい」「できるようになった」「ヒントを教えてくれたおかげで助かった」「ありがとう」などの言葉をどんどん掛け続ければよいのではないのでしょうか。

きっと子どもたちは、身近でよく見てくれている大人から、毎日一緒にいる友達から、年齢の違う仲間から、自分のことを認めてくれる言葉や褒めてくれる言葉を伝えてもらうことで、自分に自信をもち始めていくと考えます。そして、自分のよさに気づき、自分のことを好きになると思います。

私は、明日から、「あなたの挨拶が嬉しい」「笑顔のおかげで幸せになる」「頑張っている姿を見ると元気になる」など、桜トンネル入口で子どもたちに言葉を伝えます。（清水良紀）

# 9月も「ありがとう」がいっぱいです！



学校前が 明るく！

9月上旬、PTAの有志の皆さんが数日かけて、学校前の竹を切ってくださいました。通学路が明るくなり、子どもたちは驚いていました。安全な登下校が守られます。冬になると雪の重さで竹がしなり、電線に掛かっていたので、地域の皆さんも安心です。PTAの皆さん、お休みの日にありがとうございました。

## 小学校生活初めての 夏休み作品展！



ズラリと展示された一年生の作品を、縦割り班のみなさんが、ニコニコと鑑賞していました。

## 子どもボランティアの「優しさ」で グラウンドがきれいに！



9月24日（水）昼休み、子どもボランティアが芝を集めてくれました。今年は春から、カラスに芝を剥がされたり（親カラスが芝の下にいる幼虫を子カラスのために一生懸命とっていたのです）猛暑で水不足だったり、芝の管理が例年より大変だった「用務員さんを助きたい」という子どもたちの優しい気持ちが結集しました。